

岩手県の循環器病予防の取組について

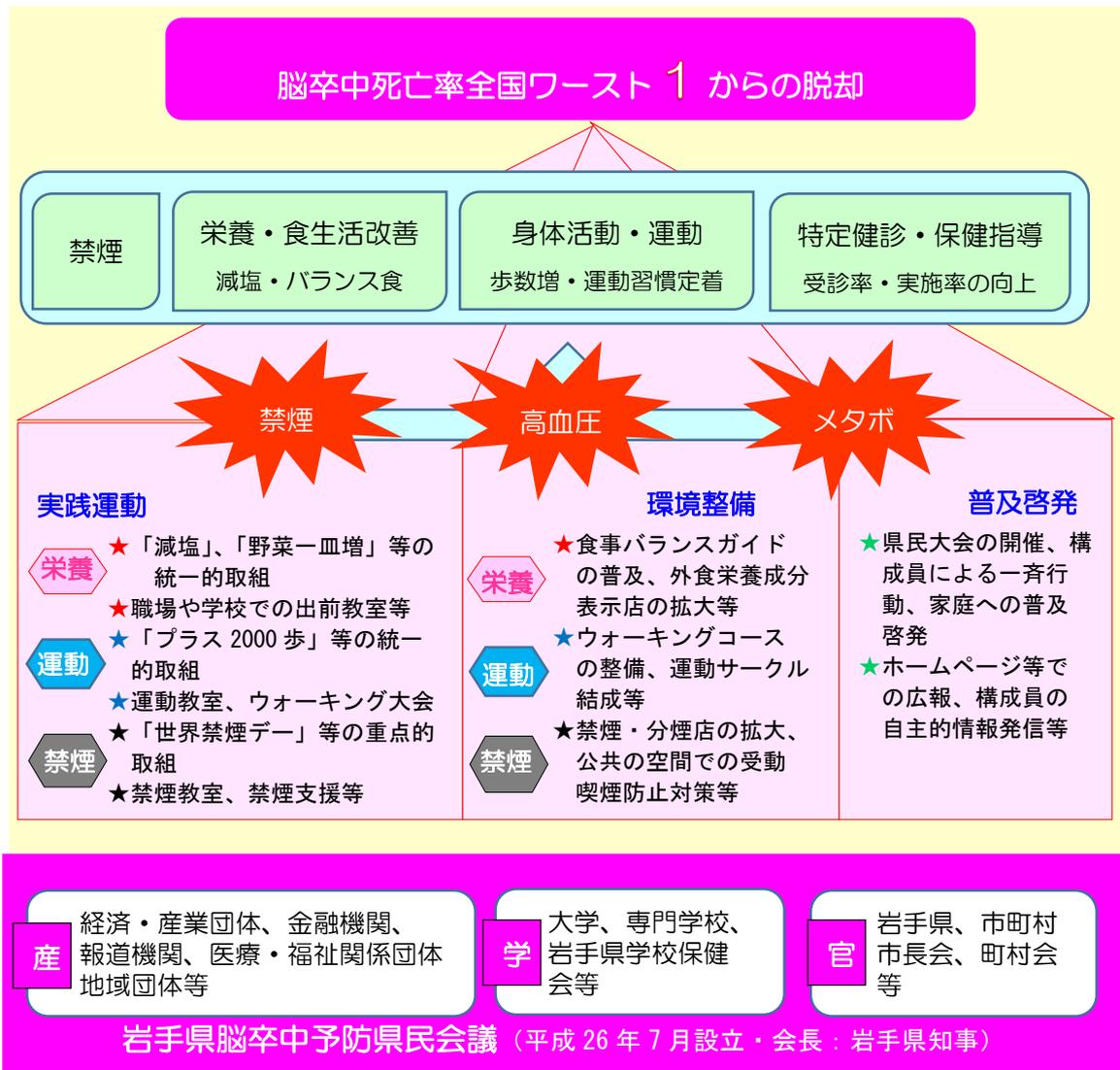
1 生活習慣の改善などの普及啓発・実践運動

(1) 岩手県脳卒中予防県民会議運動の推進

「脳卒中死亡率全国ワースト1」からの脱却と健康寿命の延伸を目指し、平成26年7月に「岩手県脳卒中予防県民会議」を設立。毎年、県民大会を開催し、脳卒中予防及び生活習慣の改善に係る普及啓発を行うとともに、会員の自主的な取組を促進するなど、官民が一体となって取組を推進している。

(令和2年3月末現在 546 団体・機関が参画)

岩手県脳卒中予防県民会議の取組体系図



(2) 「いわて減塩・適塩の日」キャンペーンの実施

県民会議・県民運動の取組では、県民一人ひとりが塩分摂取と健康について考え行動する日として、平成 27 年 7 月から毎月 28 日を「いわて減塩・適塩の日」として、県内スーパー等で減塩メニューの試食やメニューの配付等を実施するとともに、街頭や健康づくりイベント等、地域住民が多く集まる場所でキャンペーン活動を実施している。

(令和元年度 活動回数 110 回、参加者数 延べ 10,706 名)

(3) 禁煙・受動喫煙防止対策の推進

健康いわて 21 プラン（第 2 次）の中間評価においては、「成人の喫煙率の低下」や「未成年の喫煙をなくす」などにおいて「悪化」と評価されており、あらためて喫煙対策の強化が課題となっていることから、禁煙支援マスターである保健所長による企業等の喫煙防止担当者に対する禁煙・防煙リーダー研修会の開催、地域における禁煙・防煙教室の開催、禁煙を希望する対象者への禁煙補助剤の配付などの禁煙サポート事業等を実施している。

また、改正健康増進法の令和 2 年 4 月からの全面施行に伴い、施設の管理者等に対する受動喫煙防止対策の徹底を推進しています。

(令和元年度 禁煙・防煙リーダー研修会・教室開催回数 69 回、参加者数延べ 3,806 名)

(4) 働き盛り世代の健康づくりに向けた取組支援

民間企業のノウハウを活用した「企業対抗チャレンジマッチ」を実施。参加企業の従業員に活動量計を貸与し、日々の歩行数等の測定結果をデータとして集計し、ランキングの上位企業・個人を表彰。事業開始前後の内臓脂肪測定結果により、事業効果の評価を行っている。

(令和元年度 参加企業 24 企業、参加従業員数 1,022 名)

(5) 健康経営の推進

働き盛り世代の健康づくりを推進するため、健康経営に積極的に取り組む事業所等を「いわて健康経営認定事業所」として認定し、認定事業所に対しては県や保険者等が連携してその取組を支援している。

また、健康づくりの取組を行う事業所を広く募集し、優良な事業所を表彰するとともに、その取組内容を広く紹介することにより、健康経営の更なる普及を促進している。

(令和 2 年度いわて健康経営認定事業所数 264 事業所)

(6) STOP MIキャンペーンの推進

心筋梗塞の前兆の症状等について知ってもらい、前兆を感じた方に早期の受診を促す「STOP MIキャンペーン」を推進している。

2 特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上

脳卒中や心疾患などの要因となる高血圧やメタボリックシンドローム等を早期に発見し、治療に結び付けるための特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上に向けて、メッセージの工夫などナッジ理論等の手法を活用した受診勧奨など市町村を対象としたフォローアップ研修会を開催している。

3 脳卒中登録事業及び心疾患登録事業の実施

県内の脳卒中患者及び心疾患患者の発症と経過に関する情報を継続的に収集、保管及び解析し、疫学的分析により、疾病の要因を明らかにすることにより、脳卒中・心疾患予防対策の実施及び脳卒中・心疾患医療の一層の推進・向上を図ることを目的として、平成2年度から「地域脳卒中登録事業」を、平成28年度からは「地域心疾患登録事業」を岩手県医師会への委託により実施している。